

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	補聴器・人工内耳Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼夜間部2年生		学期及び曜時限	前期 6,7限他	教室名	402
担 当 教 員	西岡隼基 圓越広嗣	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
聴覚分野には必ずついてくる「補聴器・人工内耳」についての知識を深め、リハビリテーションを行うものとして必要な検査、訓練、および心構えを学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第2版(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
指定教科書を使つての復習						
《履修に当たつての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>補聴器は患者が生活の一部として使用していく機器であり、機器そのものの知識についても深く知っておくことが重要である。</li> <li>人工内耳は最先端の医療機器です。馴染みの少ない領域かと思いますが、基礎から学習しましょう。</li> </ul>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の構造・種類について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	補聴器の構造・種類について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の特性について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	補聴器の特性について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の機能について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	補聴器の機能について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	医師の診断から補聴器適合にいたるまでを説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医師の診断から補聴器適合にいたるまでを学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器適合検査の指針(2010)[必須検査項目]について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	補聴器適合検査の指針(2010)[必須検査項目]について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器適合検査の指針(2010)[参考検査項目]について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	補聴器適合検査の指針(2010)[参考検査項目]について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器調整(フィッティング理論、利得)について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	補聴器調整(フィッティング理論、利得)について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の補聴器を用いたリハビリテーションについて説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	成人補聴器装用者の評価・訓練について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児の補聴器適合について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	成人との比較、医師の診断から補聴器適合にいたるまでを学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児の補聴器調整について説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	成人との比較、乳幼児に必要な知識について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児の補聴器を用いたリハビリテーションについて説明できる	テキスト 配布資料 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	成人との比較、乳幼児および親との関わりについて学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の原理、構造、適応基準について説明できる。	テキスト 配布資料 スライド	テキストp203～208を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	人工内耳の原理と体外部・体内部の構造について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳のマッピングの流れについて説明できる。	テキスト 配布資料 スライド	テキストp212～217を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	精神物理学的手法など人工内耳のマッピングについて学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳と補聴器との違いや術前術後の言語聴覚士の関わりについて説明できる。	テキスト 配布資料 スライド	テキストp208～212、p219～227を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	人工内耳の術前術後の言語聴覚士の役割について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	術後、どのようなサポートが必要かを説明できる。	テキスト 配布資料 スライド	テキストp219～227を読んでおくこと。また、p205図5-31を描けるようにしておくこと。
		各コマにおける授業予定	症例を通じ、機器の点検や修理時の対応など人工内耳のフォローについて学ぶ。		